

総務環境部会だより

南砺市5土地改良区
合併協議について

土地改良区体質強化のため福野町土改・城端土改・井口村土改・井波町土改・福光町土改が令和4年2月に合併して受益面積7、404ha、組合員数6、900名の南砺市土地改良区（詳しくは年末に配布された土地改良区統合整備推進協議会だよりをご覧ください）で、地域づくりの協議会単位を選挙区とし、高瀬西地域は理事1名 総代2名（福野町土地改良区は理事2名 総代6名）面土地改良区では富山県内で最大、全国的にも大規模な土地改良区が誕生となる予定です。

合併後の課題として、先人が創り上げてきた農地や灌漑排水施設を大切に利用し次の世代に引き継いでいく為に竣工から50年以上経過した施設が多い高瀬西地区の実情に即した維持管理組織の設立運営が求められます。

農業の耕作に必要な水を確保する本来の目的に加え、地域の生活用水や近年多発する想定を超える集中豪雨による洪水の防災・減災対策等々多面的かつ公益的機能を有しているインフラです。ゴミを捨てないなど地域みんなで守っていきましょう。

女性部だより

女性部長 片山伴子

女性部を日頃から協力いただきありがとうございます。本年もよろしくお願いたします。



アルミ缶回収につきましては、単価が安くなりましたが、古紙回収のほとんどが市からの奨励金と合わせて各集落へ還元しながら活動しております。毎年12月にはボロ回収もしています。

新型コロナウイルス感染防止でできませんでした。また、令和2年度は活動制限があり活気に欠けたかもしれませんが、皆さんを気遣いながらどう進めるかを検討してきました。

今後どんな状況になっていくにしても、家族の健康管理を考え、元気でいるには、安上げるには、何を利用できるか、ペットは大丈夫かまで気を使いながら対策を考え、高瀬西の発展に協力していけたらと思います。

大型モニターを整備

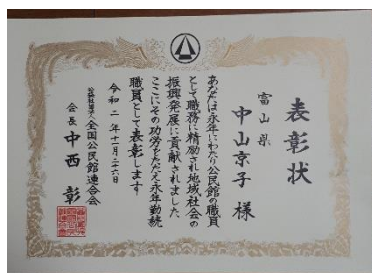
昨年11月、交流センターにオンライン会議用大型モニターを整備されました。

コロナ感染拡大防止のため、大勢で集まる会議・研修などの取りやめが相次ぎ、情報共有の必要性から各地域づくり協議会に整備されたもので、今では、事務局連絡、部門ごとのオンライン会議・研修が主流となっています。また、この装置は特定の交流センターだけを繋ぐ会議も可能なものです。当地区では、早速、交流センターで開催した文化祭で地域づくり活動の紹介に使用しました。

今後、市の部会ごとのオンラインでの研修や各種会議に使用されるほか、地区内での研修等活動にも利用可能ですので事務局までご一報下さい。



中山地域指導員が全国表彰



令和2年度全国公民館大会において、当地域づくり協議会事務局の中山京子地域指導員が永年勤続表彰を受けました。平成17年から15年間、生涯学習活動に貢献されました。

人事

- 区長 森清 古川 雅治
- 安清 中山 文男
- 江田 作家 重徳
- 雨潜 柳瀬 章
- 生産組合長 安清 中道 茂雄
- 江田 止境 一泰
- 雨潜 中村 吉宏
- （今年改選のみ記載）
- 庄川上流用水土地改良区理事
- 武部 清志 （三清西）再
- （R2・11・15〜4年）

富山県がコロナ感染防止対策「ステージ2」への移行に伴い、交流センターの開館時間を当面の間、午後7時まで利用とさせていただきます。

南砺市高瀬西交流センター

米寿お祝い状の授与

令和2年11月8日



〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん(代理)

〇〇〇〇さん(代理)

〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん

〇〇〇〇さん(代理)

高瀬西

ふるさと広報

《第6号》

令和三年一月二十五日発行

高瀬西地域づくり協議会
南砺市森清三二四八番地
高瀬西交流センター内

年頭のバウ挨拶

協議会長 中井邦夫

あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス禍で、社会活動が大きく制限された一年でありました。これほどの影響がこれまでもあったのでしょうか。早急なワクチン接種が待たれるところです。

当協議会でも、主要な活動が制限され、相次ぎ中止を余儀なくされました。それでも、四部会(生涯学習、福祉推進、生活安全、総務環境)とも規模を縮小するなどして可能な活動を展開してきました。引き続き、新型コロナウイルス感染症防止策を徹底しながら、出来る活動を進捗していくこととしています。

【コロナ感染防止の対策】 交流センター玄関に消毒液、マスク、検温計を配備、会議等用のアクリル板を整備、そして、会議中は扉を開放しています。また、入館者を追跡できる対策を取っています。なお、検温計は貸し出し用も整備していますので、各集落の行事等にも活用いただけます。

【生活道路の安全確保】 市道安清苗島線歩道設置工事は、第一期工事八塚地内へ年度内完成予定が行われて

います。また、来年度には、三清西へ雨潜地内の工事が予定されており、今後も順調な整備を継続要望していくこととします。

【高齢化社会へ対応】 少子高齢化が進む中、高齢者の世帯や一人暮らしが増加しています。また、高齢者の運転免許返納を奨められていくことから、いわゆる「生活要支援者」が増えていくこととなり、将来、除排雪や交通移動手段などの取り組みを進めていく必要があります。

【地域の力復活】 「コロナ禍により行事の多くが中止され、地域の絆が薄れてきていることから、コロナ終息後を見越して事業の見直しを進め、住民の交流や防災、福祉などの活動を通して住民の絆を取り戻す「地域力の復活」を目指していく必要があります。

【交流センター維持管理】 昭和57年建設から40年経過し、外壁、非常階段、自転車小屋など各部の塗装に剥がれが目立つことから、市に対応を要望しているところです。小規模修繕については、地域づくり協議会が取り組んでおり、本年度は、非常灯の取替、LED照明化を図りました。

【おわりに】 今月、35年ぶりの豪雪となり、除雪に明け暮れる毎日となりました。皆様にはお体をこぞ自愛の程お願いいたします。

本年もよろしく願っております。



生涯学習部会だより

ワイワイ書初め

ワイワイ学園の「書初め」を新年1月5日(火)午後後に開催しました。講師の浅田先生と寺井先生に筆の使い方や墨のつけ方などいろいろ教えていただきながら学年ごとの課題を真剣に頑張って書きました。



「コロナ対策は万全に!!!」

11月8日~15日 文化祭

新しい生活様式の中、そろりと再開されたサークルやサロン。又、個人の方々からたくさんの出品をいただき開催できた文化祭でした。

(来場者数延べ 158人)



「玄関では華やかにお出迎え」

「今年もありました野菜直売」安っ!!



「上手に作ってあるね!手芸品・生け花」



「くすっと笑える川柳もありました」

健康・体力測定会開催のお知らせ

令和3年2月28日(日)10時~15時

種目・握力

- ・開眼片足維持
- ・立上がり歩行
- ・大股2歩あるき
- ・立上がり可否
- ・手伸ばし度合



測定時間は20分程度です。あなたの都合のいい時間帯にお越しください。生涯学習・福祉推進部会

福祉推進部会だより

米寿お祝いメダル授与

先日の米寿お祝い状授与式の際、「これからも健康で元気でいてください」と保育園児を代表して、西湖翔(かける)君と吉田銀我(ぎんが)君から手づくりメダルをかけてあげました。



巡回健康体操

今回NPO法人ふくのスポーツクラブ主催で11月・12月の間で5回ストレッチ・筋トレ他一時間の短い時間でしたが、皆さん体が熱くなった軽くなったと好評でした。(5回で延べ63人参加)



いっぴくサロン

コロナウイルス禍の中7月より予定通り毎月1回のペースで5回行い、毎回たくさん参加していただきありがとうございます。来年度も企画してまいりたいと思います。



市社会福祉協議会長表彰

○社会福祉協役員・評議員表彰

中川志保子さん(三清西)

市誕生以来、高齢者福祉推進員として地域の社会福祉活動に尽力され、その間、高瀬西地区のほか、市の社会福祉関係団体役員として円滑な団体運営に貢献されました。



○社会福祉活動者表彰

竹田 幸子さん(三清西)

集落サロンの立ち上げと永年の運営に積極的にかかわり、健康維持と仲間づくりによる地域コミュニケーションの向上に尽力されました。



お一方、受賞おめでとうございます。今後益々のご活躍をお願いします。

生活安全部会だより

日々、防災防犯意識を高めましょう!!自助のため

本来ならば10月第4日曜日に実施する防災訓練が、新型コロナウイルス感染症により中止せざるを得ない状態となりました。しかし、毎年の防災意識の維持・向上が大切と考え9月1日県主催のシェイクアウト訓練を、自宅実践型で実施しました。ご参加いただきありがとうございます。

令和2年、全国では台風被害は少なかったものの地震・豪雨災害が多発し、多くの方々が待避所での避難生活を強いられました。

当地区では「避難時には何か必要か」を話し合い「電源確保」が必要との結果に至りました。決定を受け発電機と投光器を一台ずつ計二台、令和2年度本部備品として整備させていただきました。



併せて各戸に常備しております避難袋の「自主防災組織」表を関係機関の再編等により内容を刷新し3月に配布する予定です。本年も部会活動にご理解賜ります様お願い申し上げます。